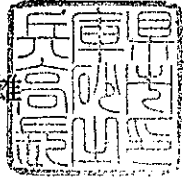




高都計第 60 号の 2
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

兵庫県高砂市長 岡 恒 雄



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のありました標記のことについて、別紙のとおり回答します。

以上

連絡先

兵庫県高砂市まちづくり部都市計画課

Tel 079-443-9033 (都市計画課直通)

Fax 079-443-9091 (都市計画課直通)

Mail tact3810@city.takasago.hyogo.jp

中期的な計画の作成にあたっての意見（兵庫県高砂市）

○ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

都市間を結ぶ広域的な道路整備とアクセス道路整備

- ・ 各自治体において財政難が続く中、道路交通問題を単位自治体のみで対応するのではなく、産業(職)、居住(住)、観光・文化(遊・学)等、各自治体の持つ特性・資源を活かし、播磨地域全体の広域的な都市構造・土地利用を考える中で整理していく必要がある。
- ・ 高砂市を含む播磨地域では、「日本の元気は、はりまから！」をテーマに、「地域間の交流・連携によるスケールメリットを強化」させることで、「職；働きやすい環境の整った地域づくりの実現」、「住；快適な住環境づくりの実現」、「遊・学；観光・文化の交流づくりの実現」をめざそうとしている。
- ・ そのために、広域的な道路へのアクセス道路整備を含めた「播磨臨海地域道路網」の早期整備をめざしている。

○ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

長寿命化と併せた道路整備

- ・ 今後、道路・橋梁の多くが高齢化し、修繕や補強等に膨大な予算が必要になってくるので、このための予算が財政を圧迫する。
- ・ 既存のインフラを最大限活用するという観点から、修繕や補強等により施設の長寿命化を図ることは重要であると考えます。
- ・ 道路の高齢化の原因のひとつである疲労は、道路網（ネットワーク）が完成していないことから、既存の道路に計画交通量以上の交通が集中し、このために道路や橋梁に予想以上の負荷がかかり、寿命をより短くしているのではないかと考える。
- ・ このため、修繕等による長寿命化を図ることと併せて、交通の円滑化、分散化、そして道路がまちづくりの根幹にあるという観点からも、周辺地域をも含めた道路網（ネットワーク）完成に向けた努力、すなわち計画的な道路整備が必要であると考えます。
- ・ 従って道路の長寿命化と整備は両輪で取り組むことが効率的ではないか。
- ・ 例えば、都市計画において拡幅計画のある道路で修繕・補強を行う場合、修繕・補強のみを行うのではなく、計画どおりに拡幅することや、右折レーンの確保等の改良と併せることで、道路利用者の利便性が向上するとともに、周辺環境も改善されるのではないか。

○ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路は都市づくりのバロメーター

- ・ 玄関を一步出れば、そこは道路。どこに行くにも道路は必要であり、また来ていただくためにも道路が必要である。
- ・ 大都市に比べて自動車交通への依存が高い地方都市では、家計に占める揮発油税等の負担割合が3倍以上になっている。
- ・ 道路は、都市の将来像を実現するための根幹的なインフラであり、都市のバロメーターである。
- ・ 日本の元気を支えてきている播磨地域の道路整備、道路長寿命化に支援をいただきたい。

以上